

組織目標評価報告書(令和2年度)

6-2

部局名:

医学部保健学科

部局長名:

中塚幹也

目標・取組	目標・取組の実施状況(成果)及び新たに生じた課題等 (部局での検証とそれに対する取組)	
①教育領域	関連する 年度計画の番号	教育領域における目標・取組の実施状況及び新たに生じた課題等
<p>1. 入試関連</p> <p>①アドミッションポリシーに合致する優秀な学生確保のため、志願率の向上を図るとともに、後期日程等の入試方法のあり方について検討する。</p> <p>②グローバル化の一環として国際バカロレア入試の定員充足、志願率の向上を図る。</p> <p>③国内外からの受験生、留学生を増やすために、SNSなども利用した保健学科の広報を開始する。</p> <p>2. 教育の内容・実施体制</p> <p>①大学院授業を学部生に提供する。</p> <p>②チーム医療教育・多職種連携教育の視点で、専攻間の垣根を超えた教育、医学科と連携した教育について検討する。</p> <p>③ラーニング commons の充実、アクティブ・ラーニングの拡大を推進する。</p> <p>④COVID-19感染拡大下での留学が困難な状況であるため、留学生との交流の機会を作る。また、ICTでの英語学習やL-café, Shikataの利用を促進する。</p> <p>⑤SDGs推進を念頭に、授業の位置づけを検討する。</p> <p>⑥COVID-19感染拡大下でのオンライン授業で利用可能な新たな教材の開発と作成を行う。</p> <p>3. 教育の成果の評価</p> <p>①臨床実習、臨地実習が可能であれば、その前にOSCE(Objective Structured Clinical Examination)を実施し効果を評価する。</p> <p>②WBT(Web Based Testing)を実施、国家試験合格率の高水準維持を目的として、WBTの利用を拡大する。</p> <p>③外部評価委員会を開催し、教育、研究、社会貢献に対する活動の評価を受けるとともに、改善点を踏まえた目標設定につなげる。</p>	1①、5①、6②、8④、14①、17①、25②、85①	<p>志願率の向上を図るため、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大の影響を考慮し、ホームページを改訂、バーチャルオープンキャンパスを開始、TwitterやLINEなどの利用したSNSでの広報を開始した。全学での取り組みに先駆けて、4月からYouTube等で広報活動を開始、独自に看護、放射、検査の各専攻が複数回、オンラインでのオープンキャンパスを開催した。</p> <p>また、留学生や国際バカロレア(IB)向けの広報も行い、IBの受験生、合格者を確保した。結果として、2019年度と比較して、入試の志願率は全体として上昇した。看護学専攻の入試倍率の上昇が見られず、来年度の志願率の上昇に向けて受験科目の見直しを行った。</p> <p>チーム医療教育・多職種連携教育の視点で、専攻間の垣根を超えた教育としてチーム医療演習等を実施、また、医学科教務委員会を議論し医学科と保健学科の学生が受講できる科目を設定した。</p> <p>COVID-19拡大下でのオンライン授業で利用可能な新たな教材の開発と作成ができるように、動画撮影ができるスタジオを作った。また、教員がアクティブ・ラーニングに対応できるようにオンラインでのグループワーク、オンデマンドでの予習復習を行うことができるように支援した。</p> <p>COVID-19感染拡大で留学が困難な状況であったが、学生が準備し、2021年1月9日(土)にタイのシーマハサラカム看護大学とのオンラインでの交流会において英語でのプレゼンテーションを実施した。</p> <p>SDGs推進を念頭に、各授業の位置づけをシラバスで提示した。また、SDGsアンバサダーの活動を学科として支援した(2件)。</p> <p>外部評価委員会を開催し、教育、研究、社会貢献に対する活動の評価を受け、外部への発信の強化を指摘された点を踏まえ、ホームページの改訂、SNSでの発信の強化を行った。</p>
②研究領域	関連する 年度計画の番号	研究領域における目標・取組の実施状況及び新たに生じた課題等
<p>・保健学科の研究領域については、保健学研究科にまとめて記載した。</p>		
③社会貢献(診療を含む)領域	関連する 年度計画の番号	社会貢献(診療を含む)領域における目標・取組の実施状況及び新たに生じた課題等
<p>・COVID-19感染拡大下での国内外の移動が困難な状況であるため、国際化促進のため、国際交流関係WGで議論し、海外の教育機関、医療・保健機関とのICTを利用した相互交流等を検討する。</p> <p>・COVID-19感染拡大下で実現可能な「保健学研究科オープンフォーラム」を開催し、保健学科、保健学研究科における教育、研究について広報するとともに、高校生、大学生、地域の企業や市民からのニーズを把握する。</p> <p>・中学生・高校生を対象に拡大して「保健学科長と語る会」を実施する。また、COVID-19感染拡大下で実現可能なシステムを検討する。</p> <p>・同窓会や卒業生と学部生との交流拡大に向けてCOVID-19感染拡大下で実現可能な方法を検討する。</p> <p>・多様性を認め合うダイバーシティ教育の視点で、ボランティア活動を促進するシステムを構築する。</p> <p>COVID-19感染拡大下で実現可能なボランティアの方法を検討する。</p>	5①、6②、14①、17①、70④	<p>国際化促進のため、2021年1月9日(土)にタイのシーマハサラカム看護大学とのオンラインでの交流会を実施、COVID-19感染拡大下での教育、共同研究についての議論を行った。</p> <p>COVID-19感染拡大のためオンラインでの「保健学研究科オープンフォーラム」を開催し、保健学科、保健学研究科における教育、研究について広報した。高校生、大学生、市民等へのアンケートを実施した。</p> <p>ボランティア活動を促進するための顕彰制度を創設し、ボランティア活動を行った学生を表彰した。</p>
④管理運営領域	関連する 年度計画の番号	管理運営領域における目標・取組の実施状況及び新たに生じた課題等
<p>・保健学科の管理運営領域については、保健学研究科にまとめて記載した。</p>		